



駅前周辺の環境整備

寒風澤敦司



問 岩沼駅周辺の活性化と環境整備の計画と、今後の取り組みについて伺う。

都市計画課長 現在のところ、活性化や環境整備に係る具体的な計画はありませんが、高度利用がなされていない土地も一部あるため、民間開発の動向を注視し、地権者の意向把握等を行ってまいります。

市長 民間の皆さんが開発したい意向があれば、積極的に市として応援したいと述べています。また、岩沼駅前がしっかりと活性化することは大切だと思います。

問 人口減少に対して、利便性を生かし、駅周辺を中心とした活性化対策なども必要と思うが、見解を伺う。

地方創生推進課長 駅周辺に人を呼び込む、例えば新たな住環境整備や賑わいの創出などの活性化策については、人口減少対策として必要と考えています。

問 駅前広場を活用し、にぎわいの場となる取り組みが必要と考えるが見解を伺う。

商工観光課長 適切な感染対策を

施しながら、市民の皆さまや事業者の方々に活用していただきたいと思えます。

駅周辺に交番が必要では

問 駅周辺の安全・安心のために交番が必要と考えるが、治安や安全対策の現状と今後の取り組みについて伺う。

生活環境課長 警察官、防犯協会によるパトロール、夜間特別巡回等が行われています。今後も警察官、防犯協会などと連携をしながら、安全対策に取り組んでまいります。

市長 市としてもさまざまな場面で、交番設置要望書を提出してまいりますので、今後も要望してまいります。

問 駅周辺で急患が出た場合、AEDの速やかな処置が必要と考えるが、駅周辺の設置状況を伺う。

政策企画課長 岩沼駅、西口自転車等駐車場、地域支援岩沼センターの3カ所です。

◎その他の一般質問  
・農業への支援策等



歯科健診

佐藤 一郎



問 保育所、幼稚園の虫歯予防策について伺う。

子ども福祉課長 市内保育施設では、食後の歯磨きの大切さを各年齢の発達段階に応じて伝えていきます。公立保育所の3歳児以上は、管理栄養士による食育指導で虫歯予防について伝えていきます。さらに、希望する保育施設及び幼稚園の保護者の同意を得られた年長児には、フッ化物洗口を行います。

問 小中学校でフッ化物洗口の指導が増えている。永久歯に生え変わる大事な時期だが、虫歯防止策を今後どのように考えるのか伺う。

学校教育課長 現在、学校でフッ化物洗口は実施していませんが、効果があることは家庭にお知らせしています。小中学生になるとフッ化物の塗布になり、各歯科で行っていたことになるので、その啓発を今後も学校で続けたいと思えます。

問 妊婦の歯科健診の受診率が低いのではないかと。

健康増進課長 妊婦の歯科健診は、岩沼歯科医師会管轄のクリニック

に行くようになっていきます。口腔ケアは大変重要なので母子手帳交付時に歯科健診の話をしています。

問 働き盛りの歯周病健診率を上げるためには、どのようなPRをしているのか伺う。

健康増進課長 6月から11月までの期間に自由に受診していただくシステムで、40歳、50歳の方全員に受診票を直接送付し、受診を促しています。

年1回の歯科健診実施を

問 人生100年時代を迎え、歯は本当に大切で、健康先進都市いわぬまとして、健康寿命を延ばすために年1回の歯科健診を実施すべきと思うが、見解を伺う。

市長 歯科疾患の予防や早期治療は、健康寿命を延ばす上で大変重要な取り組みであり、定期的な歯科健診は望ましいと考えます。6月に政府が公表した骨太の方針に、国民全員へ歯科健診の実施に関する検討が盛り込まれており、注視していきたいと思えます。